

夏休みの生活について
— 安全で楽しくすごすために —

日頃は、本園の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
さて、令和 7 年度がスタートし本日夏休み前保育を終了し、約 40 日間の長い夏季休業に入ります。安全で楽しい夏休みを過ごすことができるよう次の 5 点について、特に注意するよう子ども達と話し約束しました。ご家庭でもお子様の生活をあたたかく見守っていただくとともに、よろしくご指導いただきますようお願いいたします。

1 交通事故には充分気をつけて

- * しおんの よいこは とびだしを しません。
- * しおんの よいこは どうろや せんろで あそびません。

幼児の交通事故は、自宅付近で歩行中 14 時～18 時の時間帯に多く発生しています。事故中最も多く発生しているのが「飛び出し」事故です。

- ① 子供の安全な遊び場を決めておく。(親子で話し合って必ずそこで遊ぶようにする。)
- ② 親が、いつも自分の子が、どこで誰と何をしているか、を把握しておく。
- ③ 基本的な交通ルールなどは、まず、親が良い手本を示して具体的に教える。
- ④ 自転車に乗る時は、親の目のいきとどく安全な場所で乗るようにする。一人で乗りません。
(両足が地面について正しい姿勢がとれるような身体に合った自転車を選んで、サドルを調節し、事前にブレーキなどの点検をする。)

2 花火の事故で、火傷・火災に気をつけて

花火は注意書きや使用法を良く読み、正しい使い方楽しく遊びましょう。

- ① 子どもだけではしない。必ず大人と一緒にやる。
- ② 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所で遊んだりしない。
- ③ 風の強いときは、花火遊びをしない。
- ④ 必ずバケツ一杯の水を用意してから行う。
- ⑤ たくさんの花火に一度に火をつけたりしない。
- ⑥ 正しい方法で点火する。(ロウソク又は線香で)
- ⑦ 吹出し・打上げなどの筒物花火は、途中で火が消えても筒の中をのぞいたりしない。点火するときも筒先に顔や手を出さない。
- ⑧ 遊んだ後は、後片付けを必ずする。夜遅くまで遊ばない！



3 水の事故は夏季休業中に多発します

夏は水の事故が増え、水死は 10 cm の水深でも起こると言われています。
家庭で風呂場やビニールプールで遊ぶときも、子ども達に水の危険を教えていきたいものです。

- ① 各務原市には、木曽川をはじめ多くの河川、用水、池などがあり、事故発生の危険が多分にあります。
おうちで、危険だと思われるところへは行かないという約束しておいてください。
- ② 「幼児の事故は、親の責任である」と言われます。保護者の目や注意の行き届くところで遊ばせましょう。

4 知らない人には絶対ついて行かない(誘拐事件の防止のために)

長い休み中、子ども達の行動については、細心の注意を払い、恐ろしい事態にならないように、ご指導くださるようお願いいたします。

- ① 夏休みには、子ども達は外で遊ぶ機会が多くなり、身も心も解放的になりがちです。その解放感が事故につながる危険性を含んでいます。
したがって、変質者によるいたずらや誘拐事件に巻き込まれる可能性もあるので、安全面での十分な配慮が必要です。
- ② 人にあいさつをしたり、何かものを尋ねられたときに親切に教えてあげることは良いことなのですが、言葉巧みにあるいは物などで誘われたりして、知らない人に付いて行くようなことのないようご指導願います。

ゆうかいに あわない ための 五つのやくそく セーフティーファイブ！！

- ① ひとりにならない！
 - ② どんなひとにも ついていかない！
 - ③ あぶないと おもったら おきなこえをだす！
 - ④ しらないひとに ちかづかない！
 - ⑤ おうちにかえったら どんなことでも おはなしする。
- *一人で又は友達だけで遊ばせないように！！

5 規則正しい生活を

夜更し・朝寝は体調不良の大きな原因となります。就寝時刻・起床時刻をお子様とよく話し合い、規則正しい生活を送るようご家庭でよろしくご指導願います。
また、長時間にわたるテレビや携帯電話での視聴、ゲームは、園児にとって大きな弊害があります。基本的生活習慣が身につくよう、ご家庭での躾をしっかりお願いいたします。

6 その他

夏休み後保育開始は 8 月 28 日（木）から給食ありの 1 日保育（通常保育）です。
【持ち物】
上靴、プールかばん、ゴム草履、なつやすみのやくそくひょう、着替え（年少・つくし）を忘れずに！！

～熱中症に気をつけて、楽しい夏休みを過ごしてね。～

